

研究課題名 全国胃癌登録研究計画書（2017年5月改訂版）

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学

教授 大段秀樹

研究期間 2018年10月26日～2031年3月31日

対象者 2011年1月から2029年12月の間に当院消化器・移植外科に受診された、初発胃癌、初発胃癌(ESD/EMR後)、残胃癌、GIST、悪性リンパ腫、その他の悪性腫瘍の患者さん。

意義・目的

本研究は本邦における胃がんの本邦の統計および追跡調査を行うことにより、胃がんに関する研究ならびに診療の進歩・普及を図ることを目的とします。

我が国の胃がん罹患数は、年間約13万人と推定され、各種臓器癌のなかで第三位です。年齢調整

防府消化器病センター内視鏡外科講座 寄付講座助教

胃がん克服の重要性はいささかも減じておらず、死亡率も徐々に低下しているものの、現在、肺癌、大腸癌に次いで第三位です。胃がん全国登録は、1963年から50年間にわたり続けられており、